

2003  
6

■編集 西区役所総務企画課広聴係  
〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1  
TEL 641-2400 内線224~226  
FAX 612-5264

○西区広報番組「西区情報プラザ」  
FMラジオ三角山放送局76.2MHz  
毎週月曜日午前11時~

○西区ホームページ  
<http://www.city.sapporo.jp/nishi/>



「老板」(中国語でボス・社長などの意味)。中国人留学生から親しみを込めてこう呼ばれる高石晴俊さんは、西区で居酒屋を営む傍ら、札幌西日中友好協会の副会長として中国人留学生を支援しています。地域の人々と留学生との交流会を行っているほか、毎週日曜日に自身の店で、留学生を講師として中国語教室を開いています。

高石さんが日中の交流活動にかかわり始めたのは今から十五年ほど前。中国のハルビンからの留学生を紹介され、



札幌西日中友好協会副会長 (留学生担当)

たかいし はるとし  
**高石 晴俊さん (65)**

琴似二条七丁目 やまさ会館内  
TEL 621-2706

## まちの人

**夢は、妻とクイーンエリザベス号に乗って世界の人々と交流すること。**

生活費の援助のためにと中国語教室の講師を依頼し、自身も中国語を習い始めたことがきっかけでした。

そして、昨年九月には、六十四歳で大連の遼寧師範大学へ念願の語学留学を果たし、今年三月に帰国しました。

留学期間中は、午前中は大学の講義、午後は家庭教師を付けて予習復習を繰り返す毎日でした。半年間の中国での生活体験で、高石さんの異文化への好奇心はますます強くなり、将来、船で世界各国を訪問したいという夢を大きく



▲毎年寒河畔公園で行われる春の日中友好交流会(お花見)

膨らませています。

「この年齢で勉強を続けていることが、若い人たちの刺激になれば」。帰国後も変わらぬ高石さんのひたむきさは、中国語教室の勉強仲間にも浸透し、今後二人の若者が同じ大学へ留学を予定しています。

高石さんが敷いた日中友好のレールの上を、着実に次の世代が歩き始めています。